

駅から見えるおいなりさん

第10代会長 村上政美

地域文化を後世にも繋げたいという小林昭実行委員長の篤い思いと行動力におされながら、平成18年の「共光稲荷創建百周年記念」では、冊子の編集に携わらせていただいたことは光栄であり、共光稲荷にまつわる地域の歴史を知る機会になったことは大変に有り難いことであった。姉妹都市と言えは「東京・ニューヨーク」のように、普通は一方が外国の都市との関係ですが、「おいなりさん」のまわりで隣同士の熊川地区と駅前地区は、100年以上も姉妹のような間柄にあつたようだ。

近くでは、拝島駅の自由通路・駅舎橋上化、駅前広場・都市計画道路などの基盤整備が進み、周辺環境が激変するものと思われる。また、平成17年12月に発足した「拝島駅南口地区まちづくり検討会」では、「おいなりさん」を新しいまちのシンボルとして大事にしていこうという意見があると聞く。

政教分離の定めというものもあるが、地域文化を活性化するために、おいなりさんに自治会からの特段の支持が得られることを期待しながら、あえて百周年記念誌に書いた随想を転載させていただく。

—☆☆☆—

随想・「おいなりさんのごりやく」

もし私にも自分史というものが書けて、交友録のようなページでもあれば、第一に森田米三郎さんのことに触れていると思います。森田さんとのお付き合いは定年後にはじまりましたが、森田さんは私の自治会活動の大先生であり支えでした。森田さんは生まれも育ちも拝島駅前の方で、多方面に知り合いが多く、それぞれとの間に深い交わりがありました。私は拝島駅前自治会長としての6年間、森田副会長から数々の知恵、情報、励ましをいただきました。そしてこれまでに飲んだ酒の量と回数のお半は森田さんが一緒でのことであつたように思います。数年前から、福生市側の町内にある共光稲荷の初午などに行くようになったのも、やはり森田さんからの誘いがあつてのことでした。そして武蔵野町会の中にも新たなお知り合いが増えるようになりました。それで、これは、おいなりさんのご利益（ごりやく）だつたのだろうと信じるようになったのです。

ところで村上さんの宗教は何なんですか?と人に言われそうですが、そのときは「ありませんと」答えるでしょう。でもあなたの宗派は何ですか?と聞かれたら「曹洞宗」と答えます。私の生まれ育つた郷里の実家が曹洞宗だからです。家には小さな神棚と仏壇がありますし、娘がキリスト教式で結婚式をあげると

言えば喜んでそれに従ってきましたが、こんなことはおそらく日本人だけで、外国人から見ればとても無節操に思われるかも知れません。昔から世界中では二者択一を迫る宗教戦争が数限りなく繰り返されてきました。日本でも仏教伝来のころ、蘇我・物部の宗教対立がありましたが、聖徳太子という偉大な政治家のおかげで大きな戦争にはならなかったのです。聖徳太子は自らも仏教徒として振舞いながら、日本土着の宗教である神道をも擁護し肯定することで危機を乗り越えたのです。

私は森田さんの後ろについて社の整備などのお手伝いをしている間に、共光稲荷大明神創建百周年記念事業の実行委員に加えていただくようになり、自分のルーツや日本人の宗教についても少しは考えるようになりました。これもまたおいなりさんのご利益（ごりやく）だと思っています。

自分にはよく説明できませんが、どちらのおいなりさんに参詣しても、やすらぎというか郷愁を感じます。

小林昭実行委員長が述べておられるように、共光稲荷が福生市と昭島市の境界にあつて、近隣住民が集い、連帯と親睦を深める場として発展し続けることを私も願っています。

(おわり)

.....

石川酒造日誌 明治 41 年 1908 年 7 月 2 日

「降雨不止、知東京（注1）へ行、停車場稲荷神社御神体納メ祭式神酒五升ヲ献ス、酒飯振舞ヲ受ク、此御神体ハ現水衛所詰東京市水道部吏員中根貞行氏ガ、旧高田藩（注2）重役タリシ時、其邸内（注3）ニ安置セシ由緒アル正一位稲荷ヲ同氏ノ発願ニテ移シ参ラレシ次第ナリ、社ハ両三年前停車場住民一同ノ建ツルところ（旧字）、宮ハ昨年庫之助ノ作事スル所ナリ」

注1：東京府知事、ここでは東京府庁か。

注2：江戸時代初期の松平忠輝から親藩・譜代大名が多数交代。幕末明治は榊原氏

注3：上屋敷は神田橋之内 中屋敷は現在の東京大学本郷キャンパスの東南角の一部から春日通りを挟んだ地域 下屋敷は現在、上野池之端の旧岩崎邸庭園になっている 中屋敷と下屋敷は目と鼻の先。旧岩崎邸庭園のすぐ北 不忍池のそばに由緒ある「境稲荷」がある。高田藩邸内にこの稲荷社を勧請した可能性は高いと思われる。もしかしたら熊川村と拝島村の「境」に祀ったことにも意味があったのかもしれない。とすれば「共光」とはまさに字義どおり両村がともに光るようにという願いを込めたということになる。

〈 拝 島 ペ ー ジ 「 共 光 稲 荷 社 由 来 」 よ り

<http://www.gws.ne.jp/home/haijima/inari.html>>